

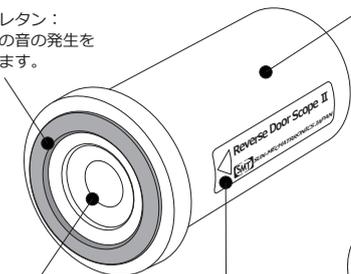
特殊防犯用逆視スコープ

リバースドアスコープⅡ

リバースドアスコープⅡ (RDSⅡ) は、集合住宅などのドアに設置してあるドアビューアー越しに室内を監視する機材です。ストーカーに変装した元恋人など、侵入者による待ち伏せ対策（入室する前の室内確認）等にご利用いただけます。

■各部名称

消音ウレタン：
使用時の音の発生を
防止します。



対物レンズ部：
ドアビューアーへ
当てる部分です。

方向指示シール：
ドアビューアーへ
当てる方向を指示
します。

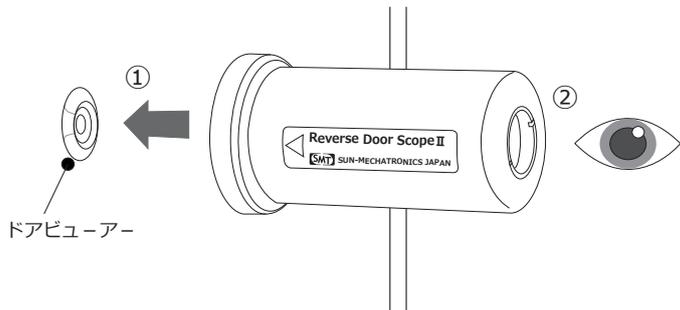
筐体部：
レンズとプリズムが格納されて
います。使用時は筐体部分を持
って操作します。



接眼レンズ部：
こちら側から
覗きます。

■使用方法

リバースドアスコープⅡの対物レンズをドアビューアーへ当てます (①)。接眼レンズ部を覗きますと、室内の様子が確認できます (②)。「良く見えない」といった場合は次のページをご覧ください。



■取り込み円センター出し

RDSⅡでドアビューアー越しに室内を監視する際、下記 (図1、図2) のように見えることがあります。これはドアビューアーと、RDSⅡのセンター (中心) がズレているためです。RDSⅡの接眼レンズを覗きながら、ゆっくりと上下左右に動かしてセンター出しをしてください。センターが合うと、図4のようにケラレが減少し、監視対象を確認する事が出来ます。※1

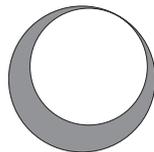


図1 左下方にケラレ。
RDSⅡの位置が左下に
行き過ぎると発生。

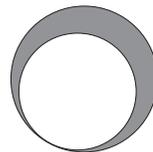


図2：右上方にケラレ。
RDSⅡの位置が右上に
行き過ぎると発生。

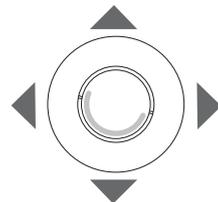


図3：RDSⅡを上下左右、
時に斜め等に動かして
センターを出します。



図4：センターが合うと
ケラレが減少し、監視対
象を確認できます。

- ※1 ケラレは完全には消えません。円筒構造のドアビューアー越しに監視する為、多少ケラレが残ります。
- ※2 プリズムを組み込んでいる為、中心にプリズムの線が見える時がありますが異常ではございません。
- ※3 レンズ内に、微小な黒点が見られることがありますが異常ではございません。

製品仕様

製品名 : リバースドアスコープⅡ
構成内容 : アクロマートレンズ3枚、タハプリズム組
実視野角 : 8°
寸法 : φ32 x 60mm
重さ : 64g